

同時接続に強い無線LANアクセスポイントを用いて、
Web会議対応のWi-Fi環境を構築

兵庫県宍粟市役所 様

目的・課題

テレワーク・
リモート対応

業種

官公庁/
自治体

導入商品

Wi-Fi(無線LAN)

コロナ禍における県主催の会議・説明会のオンライン化に対応するため、
セキュリティー及び安定性を重視したWi-Fi環境を新たに構築



施設プロフィール (2022年2月現在)

施設名	兵庫県宍粟市役所
所在地	〒671-2593 兵庫県宍粟市山崎町中広瀬133-6
URL	http://www.city.shiso.lg.jp/

兵庫県中西部に位置し、県内では豊岡市に次いで2番目の面積を有する宍粟市。「しそ森林王国」とも呼ばれる自然豊かな街の行政窓口を担う兵庫県宍粟市役所(以下、宍粟市役所)では、コロナ禍によるWeb会議・説明会の増加に対応するため、本庁舎を含む関連施設のWi-Fi環境整備に着手しました。平成28年度の「自治体情報システム強靱性向上モデル」に基づき、総合行政ネットワーク(通称 LGWAN)接続系からインターネットを分離し、仮想化していたことから、施工にあたって独立したネットワーク環境の構築を選択。法人向け無線LANアクセスポイントを用いて、同時に複数のWeb会議が開催されても安定した通信が可能なWi-Fi環境を実現しました。

課題

Web会議に
安心して参加できる
Wi-Fi環境が必要

- 1 コロナ禍によりWeb会議が増加 ▶ Web会議に適したWi-Fi環境が必要
- 2 同時参加できるのは最大3会議まで ▶ Web会議の参加スペース・回数を増やしたい
- 3 行政利用のため不正侵入防止が必須 ▶ セキュリティーを考慮した機器選定

対策

多台数同時接続でも安定通信が可能な無線LANアクセスポイント
「WAPM-2133TR」を設置

Web会議の参加可能
スペース・回数が大幅に増加

効果

- 1 本庁舎・他施設にWi-Fi環境を新設 ▶ さまざまな場所から複数のWeb会議に参加可能
- 2 Any接続拒否・端末認証による二重セキュリティー ▶ 安心・安全なWeb会議の開催
- 3 速度・安定性に優れたWi-Fi環境 ▶ タブレット端末の活用により業務効率化

お客様インタビュー

宍粟市役所
総務部 広報情報課 情報通信係
係長

主事

(左)平瀬 真也氏 (右)橋本 和樹氏



新たなWi-Fi環境を構築し、コロナ禍におけるWeb会議ニーズの増加に対応。 タブレット端末の利用や自治体DX推進など多様なシーンに活用

概要

- Web会議に必要なWi-Fi環境を整備
- 複数会議への同時参加が可能に

県主催の会議・説明会のオンライン化に対応

兵庫県は新型コロナウイルス感染拡大抑止の一環として、県が主催する会議・説明会のオンライン化を段階的に進めています。その流れを受けて、宍粟市役所ではWeb会議に参加するために必要なネットワーク環境の整備に着手。本庁舎を含む周辺の関連施設を対象に地方公共団体向けの補助金を活用し、新たなWi-Fi環境を構築しました。

タブレット端末による業務効率化やWeb会議などに活用

Web会議に参加可能なスペース及び回数が増加したほか、タブレット端末の使用による業務効率化にもWi-Fi環境を活用しています。また、全国的な自治体DX推進に伴い、今後は行政手続きのオンライン化などへの活用も期待されています。

目標・課題

- Web会議の使用パソコンは3台に限定
- スムーズ&安定通信が可能なWi-Fi環境

限られた場所・パソコンでWeb会議に参加

宍粟市役所では機密性の高い情報を扱っています。職員のパソコンからインターネットに接続するには仮想環境を介して5分程度を要するため、当初は直接インターネットに接続できるパソコンを使ってWeb会議に参加。しかし、打ち合わせ可能なスペースは3カ所、使用できるパソコンも3台に限定されていました。

複数のWeb会議に同時参加できる環境が必要

宍粟市役所 総務部 広報情報課 情報通信係 係長 平瀬 真也氏(以下、平瀬氏)は「当時の環境では、最大3会議までしか同時に参加できませんでした。より多くのWeb会議に参加するための方法を模索する中、予算や工期などの諸条件を総合的に判断し、別回線で新たなWi-Fi環境を構築することにしました。」と話します。

解決策

- セキュリティー重視のWi-Fi環境
- 導入実績を評価・加味した機器選定

不正侵入を防ぐためのセキュリティー対策

機器選定において重視したのがセキュリティー面です。ネットワークへの不正侵入を防ぐため、Any接続拒否(SSID隠蔽)およびRADIUSサーバーと組み合わせた端末認証による二重セキュリティーを前提条件に導入機器を検討。また、複数のWeb会議に同時参加しても安定通信を維持できるWi-Fi環境を求めていたことから、多台数同時接続に強いバッファロー製の無線LANアクセスポイント「WAPM-2133TR」を導入しました。

過去の導入実績に基づく製品への信頼が決め手に

「以前、指定避難所に公衆Wi-Fiを導入した際にバッファロー製の無線LANアクセスポイント「WAPM-1266R」を採用し、現在も安定稼働を続けています。そうした運用実績も決め手になりました。」と平瀬氏は話します。また、集中管理ソフトウェア「WLS-ADT/LW」も併せて導入。本庁舎を含め、離れた場所にある関連施設に設置した無線LANアクセスポイントの一括管理が可能です。

効果

- Web会議への参加回数が増加
- 自治体DXへの活用にも期待

より多くのWeb会議への参加が可能に

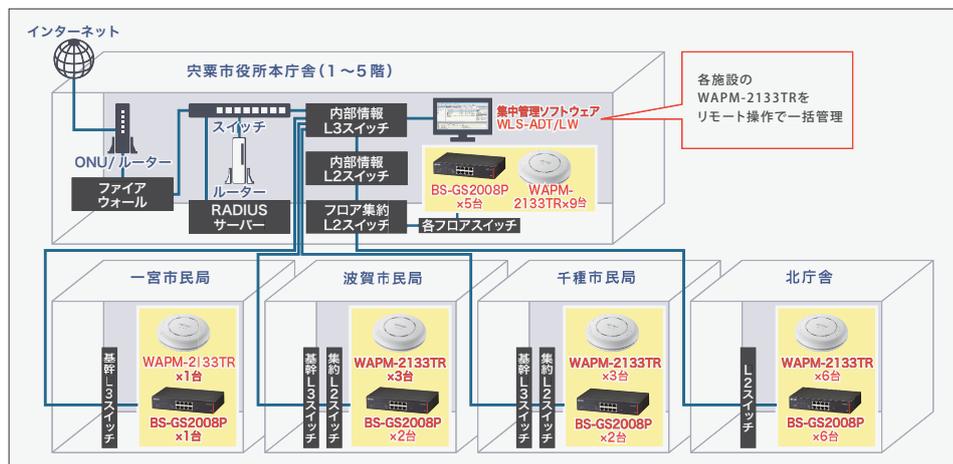
本庁舎内のさまざまな場所でWeb会議に参加できるようになったほか、3つ以上の会議への同時参加も可能に。県庁への移動時間を別のWeb会議参加にあてることで情報収集の機会が増えるなど、時間の有効活用による業務効率化も行えています。また、もともと保有していたタブレット端末をWi-Fi経由で使用することで経費削減にも成功しました。

自治体DXの取り組み推進への活用も構想

宍粟市役所 総務部 広報情報課 情報通信係 主事 橋本 和樹氏は、「自治体DXを推進する動きが全国で活発化しています。宍粟市役所でも行政手続きのオンライン化などを構想中です。今後、さらにWi-Fi環境を活用する場面が増えることを期待しています。」と話してくれました。



「WAPM-2133TR」の採用により、複数のWeb会議に同時接続しても安定通信が可能に。



Web会議・説明会での利用を目的に、バッファローの無線LANアクセスポイントを用いて本庁舎を含む関連施設に新たなネットワーク環境を構築。各施設の無線LANアクセスポイントは「WLS-ADT/LW」により一括管理。

導入商品



5年保証※
11ac/n/a & 11n/g/b
DFS障害回避機能搭載 トライバンド
法人向け無線LANアクセスポイント

WAPM-2133TR



5年保証※
PoEスマートスイッチ
8ポートモデル
IEEE 802.3at対応

BS-GS2008P



集中管理ソフトウェア

WLS-ADT/LW

※標準保証3年間、Web上の5年保証登録により2年延長